

小白川

ケアセンター

医療・介護福祉・児童福祉複合施設

施設理念 「すべての世代に笑顔と幸せを届けます」

ご挨拶



山形県済生会支部 支部長
小白川ケアセンター センター長 鈴木光弘

皆さんこんにちは。

本年4月から、山形県済生会の支部長を拝命しました鈴木光弘と申します。あわせて、小白川ケアセンターのセンター長も兼務しています。

私は、昭和57年に現在の真如苑南側駐車場にあった山形済生病院に就職。病院の移転（現在の小白川ケアセンター）も含めて約12年間小白川の地で勤務させていただきました。

その間、もう無くなってしまいましたが、「みなとや」さんのラーメンや「松福亭」さんの蕎麦や生姜焼き定食など出前を頼んだ記憶が蘇ります。先日も福屋食堂さんの広東麺を懐かしく食べさせていただきました。

済生会をご承知の方も多いと存じますが、明治天皇の「済生勅語」により発足した社会福祉法人です。東京に本部、全国40都道府県に支部があり山形県済生会支部では医療と老人福祉・児童福祉の分野で活動しています。小白川ケアセンターでも診療所をはじめ様々な福祉事業を行っていますので、ぜひ地域の皆様に足を運んでいただきたいと思います。

また、最近は猛暑・酷暑が当たり前の時代になってきました。当センターでは「クーリングシェルター」として施設を開放していますので、避暑もかねて活用していただけたら幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会



山形県済生会

小白川ケアセンター

先生にインタビュー

山形済生病院附属小白川診療所

診療所長(漢方専門医) 金杉 浩先生



「なんとなく不調」もご相談ください!

内科(漢方)が始まりました!

『8月18日から、内科(漢方)の診療が始まりました。
どのような診療なのでしょう?』



金杉先生

漢方では、病気そのものだけを見るのではなく、「心と体のバランス」を大切にしています。
「大きな病気はないけれど、なんとなく体調がすぐれない」そんな日常のお悩みをお持ちの方は、お気軽にご相談ください。

『具体的には、どのような症状の方におすすめですか?』



金杉先生

例えば、次のようなお悩みがあります。
『生理痛・生理不順・更年期の不調・甲状腺機能低下症・こむら返り・貧血・冷え性・下痢・便秘・だるさや疲れ・花粉症』などです。

『漢方では、どのように治療するのでしょうか?』



金杉先生

「多すぎるものは減らし、不足しているものは補う」ことで、体が本来のバランスを取り戻せるようにするのが漢方の基本的な考え方です。
これを漢方では「補瀉(ほしゃ)の原則」と言います。
人の身体は、さまざまなバランスを保ちながら健康な状態を維持しています。そのバランスが崩れたときに、体の不調として現れることがあります。
漢方では、「体のバランスがどのように崩れているのか」を考えて治療します。
診察では、一人ひとりの体質や症状を丁寧に診ながら、その方にとって何が多く、何が不足しているのかを見極め、適した漢方薬を選んでいきます。

『“心と体のバランスを整える”ということですね?』



金杉先生

はい。漢方では、心と身体を別々に考えるのではなく、「心身一如(しんしんいちにょ)」という考え方を大切にしています。
その人が本来持っている力を引き出しながら、身体全体のバランスを整える。それが漢方の特徴の一つです。

★金杉先生プロフィール紹介★

- ・出身:千葉県
小・中・高は東京で学生生活を送る
- ・一番の健康法:好き嫌いなく食べ、好きなビールを飲むこと。
- ・趣味:釣り(鮎の友釣り)
小国川や真室川に行きます。

🍀略歴

新潟大学医学部卒 医学博士
山形大学附属病院
前山形済生病院副院長

💎資格

日本産婦人科学会産婦人科専門医
・指導医
日本東洋医学会漢方専門医

山形済生病院附属小白川診療所

- ・診療科目 内科(漢方)
- ・診療日 火曜日
- ・診療時間 午前9:00~12:00

受付は11時まで。



一人ひとりのお話を丁寧に伺い、
その方に合った漢方治療をご提案します。

探訪

VOL.3

小白川ケアセンターの
乳児院 はやぶさ
ってどんな所？

施設長 挨拶

施設環境を最大限に生かした乳児院運営を目指して



乳児院はやぶさ
施設長 齋藤英敏

開設8年目を迎え、以下のことに留意して運営にあたっていきたいと考えています。

入所児童の健やかな成長を保障するために、当院が置かれた環境を最大限生かすことが肝要であると思っています。

当院環境の特長として、高齢者が多く利用する事業所を有する複合施設内にあること、山形大学等が近隣にある市内屈指の文教地区に所在すること、全国に7つの乳児院を有する済生会ネットワークがあることです。それぞれの特長を生かすべく、施設内、近隣地域、運営法人において、積極的に連携を図ることを大切にして、社会的使命を果たしていきたいと考えています。

乳児院ってどんなところ？

乳児院には様々な事情により家庭での養育が難しい乳幼児が入所しており、24時間365日体制で養育しています。再び家庭で暮らせるように家族との面会を行ったり、里親さんとのマッチングを行ったりと、子どもたちを安心できる生活の場へとつなぐ役割があります。

専門的な知識を持つ保育士、看護師、栄養士、社会福祉士など多職種が連携し、子どもたちの生活やそのご家族を支援しています。

夏の思い出 🌻🌻🌻



写真：職員の膝の上に座って花火鑑賞する子どもたち

今年の夏はテラスで花火を楽しみました。小白川ケアセンター内の利用者の方々もテラスに集まり、同じ景色を眺めながら夏のひとときを満喫しました。

花火が始まる前は、外の暗さに少しドキドキしている子もいましたが、色とりどりの花火が打ちあがると「メロンのはなび！」と声を弾ませる姿も見られ、特別な夏の思い出になりました。

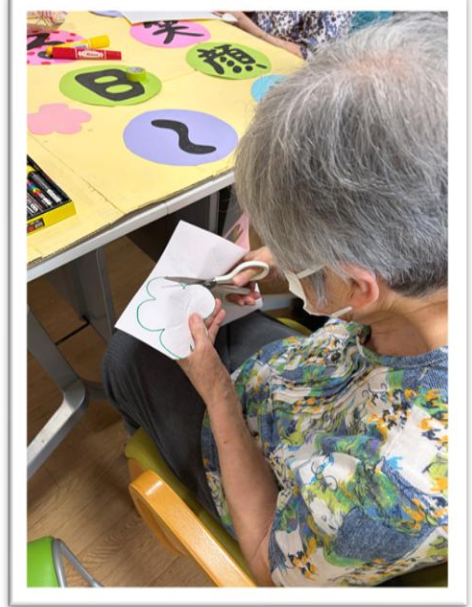
乳児院 はやぶさ

山形大学の皆さんとつくる“地域の笑顔”

小白川ケアセンターでは、「地域と連携を図り、人と人との繋がりと関わりを作る」という目的の一つとして、山形大学地域教育文化部文化創生コースの学生さんと一緒にアート活動に取り組みました。

山形大学のみなさんとのコラボ企画です。昨年度に続いて2回目の取り組みで、今年度は小白川ケアセンターフェアの看板をみんなで楽しく制作しました。

交流を楽しみながら、地域との新たなつながりを育む機会となりました。



ご意見・ご要望など

- ・ サービス事業所内の温度、湿度管理について、変化に配慮した対応をしてほしいとご要望がありました。空調設定を変更（稼働時間）調整（風量等）し、温度、湿度等の対応をいたしました。季節、気候に応じた快適さに配慮してまいります。
- ・ 診療所の待ち時間について、ご指摘がありました。ご予約の方を優先に診療させていただきますが、お気づきの点等がありましたら、職員までお問い合わせください。



寄付・寄贈・ボランティア

日頃より多くのご支援をいただきありがとうございます。

山形キワニスクラブ 様
「音の宅配便」小野 紳生 様
山口 瞳 様

(令和8年4月1日～令和8年9月30日)



令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日)
小白川ケアセンター事業報告及び収支決算について

以下により閲覧いただけます。

場所：小白川ケアセンター1階事務室
時間：平日 午前9時 ～ 午後5時

ご希望の方は、お申し出ください。



あ
と
が
き

「小白川ケアセンター広報誌第9号」をお読みいただき、ありがとうございました。
ご利用の方々の笑顔や日々の活動の様子を通して、当センターの雰囲気が少しでも伝われば幸いです。
これからも笑顔と幸せを大切に、皆様に親しまれるケアセンターを目指してまいります。

広報委員 / 山口仁志・佐藤秀也・岩城多香代・鈴木幸子・伊藤遥・井上美友紀・野口幸歩・今田恭裕・尾形智明

編集・発行 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 山形県済生会 小白川ケアセンター
〒990-0021 山形市小白川町2丁目3番1号 TEL 023 (616) 5080 FAX 023 (616) 5081

E-mail kojirakawa@yamagata-saiseikai.org

発行責任者 / 鈴木光弘 発行日 / 令和8年9月30日